

令和 6 年度第 2 回岡崎市総合政策指針審議会 会議録

日 時

令和 6 年 12 月 23 日（月）14:00～16:00

場 所

岡崎市東庁舎 2 階大会議室

出席委員

名古屋都市センター長	奥野 信宏	会長
岡崎商工会議所 会頭	大林 市郎	委員
東京大学 教授	小川 光	委員
連合愛知三河中地域協議会 副代表	小林 義典	委員
岡崎市教育委員	千野 智子	委員
岡崎市総代会連絡協議会 会長	長坂 秀志	委員
岡崎信用金庫 地域振興部 部長	八木 則行	委員
岡崎市医師会 会長	山本 潤	委員

欠席委員

名古屋大学 名誉教授	福和 伸夫	副会長
名古屋大学 准教授	井料 美帆	委員
あいち三河農業協同組合 代表理事組合長	大竹 博久	委員
早稲田大学 教授	小野田 弘士	委員

事務局

市長	内田 康宏
総合政策部 部長	岡田 晃典
総合政策部企画課 課長	富田 浩也
総合政策部企画課 副課長	板坂 英幸
総合政策部企画課 係長	中村 衣里
総合政策部企画課 主査	武藤 康弘

傍聴者

1 名

会議要旨

1 会長及び副会長の選出

- 小川委員から奥野委員を会長に推薦する旨の発言があり、全会一致で承認された。
- 奥野会長から福和委員を副会長に推薦する旨の発言があり、全会一致で承認された。

2 議題「第7次岡崎市総合計画中間見直し及び次期総合戦略策定について（諮問）」

【各委員の主な意見と事務局回答】

- 経済全体が低調なため、それを踏まえて今後の取組を検討する必要がある。
- 市の課題に対して網羅的に対策を講じることは財政的に難しいと思われるため、将来予測や市民ニーズを踏まえ、優先順位をつけて対応を検討してもらいたい。

（事務局回答）

行政サービスと投資的経費の区分けを整理して、投資的経費に当たる部分については優先順位を考えて取り組んでいきたい。

- 市民意識調査において、保健・医療・福祉分野の市民満足度が前回調査から低下しているが、要因を分析しているか。

（事務局回答）

今回は市民意識調査の結果を速報として示しており、詳細な分析は今後実施予定である。保健・医療・福祉分野については、自由記述欄で子ども医療費に関する意見が複数あるため、子育て世代の満足度低下は要因として推測される。

- 宿泊施設や観光コンテンツの不足、公共交通の不便等が観光宿泊客数の伸び悩みに影響していると思われるため、そのような課題の解決に向けた対策を検討する必要がある。

（事務局回答）

宿泊施設の誘致は課題だと認識しており、コンベンション施設とともにホテルの誘致に取り組んでいきたい。

市内周遊については、サイクルシェアの普及が進んでいるため、サイクルシェアも含めた回遊性の向上に取り組むとともに、公共交通の確保や道路整備による渋滞対策等の取組みを進めていきたい。

- 観光の夜間コンテンツは市民に迷惑となることもあるので、夜間コンテンツ以外にも宿泊者が翌日楽しめるコンテンツの造成等も考えてもらいたい。
- 市民意識調査で住みよさについて調査されているが、生活に便利な地域と不便な地域の二極化が進んでいると思う。生活が不便な地域に対して、公共交通の支援等、地域の実情に合わせた解決策の検討が重要である。

（事務局回答）

公共交通については市民の関心も高く、地域に応じた交通システムを構築できれば市民の満足度も上がるのではないかと思う。交通については、共助による公共型ライドシェアに積極的に取り組んでいくとともに、他分野においても共助の仕組みを生かしたまちづくりを進めていきたい。

- 町内会加入率が高いが、役員の担い手不足が顕在化しつつある。町内会等の人のつながりは防災・減災対策において大変重要なので、平時から地域において複合的な人のつながりの構築に向けて取り組む必要がある。
- アウトレットモール開業やプロスポーツチーム誘致など、岡崎市は明るいニュースも多い。プロスポーツに関連して岡崎市に來訪する人も増えていると思うので、こうした取組は継続してもらいたい。
- 限られた資源の中で優先順位をつけて対策を講じるためには、適切な費用対効果の捕捉が重要である。国が進めている EBPM の考え方に則し、岡崎市も政令指定都市と同様の水準で EBPM の取組を進めていけば中枢中核都市としてアップグレードできるのではないか。
- 学校教育施設の老朽化は懸念しており、施設の問題により教育内容に悪影響を及ぼさないよう先手で対策を講じる必要がある。

(事務局回答)

学校教育施設への機能集約等も検討しつつ老朽化対策を進めていく。学校は子どもたちのための施設であるが、社会教育や地域拠点にもなり得るため、活用方法について検討していきたい。

- 強み・弱み分析で愛知県全体で授業中に ICT を活用して指導できる教員等の割合が全国平均より低い旨の記載があるが、岡崎市は GIGA スクール構想にも先進的に導入しているなど、強みである。
- 岡崎市は子育てしやすいまちだと思うが、子育て支援に関する PR が不十分なので、子育て世代への魅せ方を工夫してもらいたい。
- 市内の中小企業は減少傾向にあり、物価高等の影響も伴い非常に苦しい経営状況だと認識している。事業者の中には自身の強みや課題を正しく理解できていない経営者も多く、事業承継の他にも多面的な支援を検討する必要がある。

以上